



平成21年4月23日

各位

会社名 ローム株式会社  
 代表者名 取締役社長 佐藤 研一郎  
 (コード番号6963東証・大証第1部)  
 問合せ先 広報IR室長 野里 浩平  
 (TEL. 075-311-2121)

## 繰延税金負債の一部取崩し及び業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成21年2月6日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

(金額の単位：百万円)

平成21年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 315,500	百万円 0	百万円 5,500	百万円 11,500	円銭 104.95
今回発表予想(B)	317,000	10,500	18,600	9,600	87.61
増減額(B-A)	1,500	10,500	13,100	21,100	
増減率(%)	0.5		238.2		
(ご参考) 前期実績 (平成20年3月期)	373,405	67,361	62,796	31,931	284.66

平成21年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 246,500	百万円 4,000	百万円 19,000	百万円 3,000	円銭 27.38
今回発表予想(B)	247,500	4,800	21,400	3,900	35.59
増減額(B-A)	1,000	800	2,400	900	
増減率(%)	0.4	20.0	12.6	30.0	
(ご参考) 前期実績 (平成20年3月期)	333,279	36,391	33,244	18,077	161.16

## 修正の理由

これまで、連結財務諸表の作成上、海外連結子会社の留保利益については、将来の配当時に負担することになる税金について、繰延税金負債を計上しておりましたが、平成21年3月31日公布の法人税法の改正により、外国子会社配当金益金不参入制度が導入されたことに伴い、平成21年3月期連結通期決算において、過年度に計上した繰延税金負債の一部を取崩すこととし、税金費用が約500億円減少する見通しとなりました。

通期の業績については、平成21年2月6日に公表いたしました業績予想に対して、為替レートが想定よりも若干円安で推移したことやコストダウンを強力に進めたことにより営業利益及び経常利益は従来予想を上回る見通しとなりましたが、昨年10月に買収いたしましたOKIセミコンダクタや他の国内外のロームグループ各社において想定を超える早期退職関連費用や遊休固定資産に係る減損損失を計上する見通しとなりました。

こうした状況を踏まえ、平成21年2月6日に公表しました連結及び個別業績予想を上記の通り修正いたします。

## &lt;業績等の予想に関する注意事項&gt;

この資料に記載されております業績等の予想数字につきましては、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以上